2021 年度秋季展「王朝文化（ロイヤリティ）へのまなざし一戦前期女子教育における一」
《関連イベント》オンラインフォーラム

「戦前期女子高等教育における教育標本」

展覧会「王朝文化へのまなざしー戦前期女子教育におけるー」では、当ミュージアムが所蔵する登録有形民俗文化財「武庫川女子大学近代衣生活資料」の戦前・戦中・戦後期の教育標本資料から、京都府立女子専門学校旧蔵の有職人形と裁縫雛形、郷土人形に焦点を当てて、戦前期の女子の高等教育における教材がどのような役割を果たしたかを示します。併せて、女子の高等教育がどのようなもので、当時どのような意味を持っていたのかについて考えることを最終目標としますが、今回は、当館所蔵の関連資料も加えて、教材としての標本資料がどのようなものであったかを中心に紹介します。

オンラインフォーラムでは、京都府立女子専門学校旧蔵資料と当時の女子高等教育との関連や教育標本の製作を担った島津製作所の活動や役割、戦前の学校教育における郷土教育の教材としての資料の内容と役割等に焦点を当て、当時の教育標本の意義について明らかにしていきたいと思います。

このオンラインフォーラムを通して、戦前期の女子高等教育の様相が少しでも明らかになり、現在に連なる足跡と、さらに未来の女子大学へと展開する在り方に光が当たることを期待します。

日時：2021 年 11 月 30 日（火）13:30～15:40
会場：オンライン配信（Zoom）定員：200 名　※オンデマンド配信の予定あり
講演者：森 理恵（日本女子大学）
　　　　川勝 美早子（島津製作所 創業記念資料館）
　　　　林 潤平（京都市学校歴史博物館）
司　会：横川 公子（武庫川女子大学附属総合ミュージアム）
パネリスト：
　株本 訓久（武庫川女子大学附属総合ミュージアム研究員/情報メディア学科）
　伊永 陽子（武庫川女子大学附属総合ミュージアム）

申し込み方法：　申し込みフォーム　https://forms.gle/NBpc2vQtj6JAB5w3A
　　　　　　　　開催の前日までに URL と参加用 ID、パスワードをお知らせします
　　　　　　　　申し込み締切：2021 年 11 月 26 日（金）16 時まで。

【11 月 30 日（火）オンラインフォーラムスケジュール】

13:30～　開会・趣旨説明　横川 公子（武庫川女子大学附属総合ミュージアム）

13:35～　講演①『資料を後世に伝える
　　　　　　　　　—京都府立女子専門学校と京都府立大学女子短期大学部—』

森 理恵（日本女子大学）

徳川美術館、神戸ファッション美術館準備室、金蘭短期大学、京都府立大学を経て現職。専門は日本服飾文化史。近世から近現代における日本の衣生活について、ナショナリズム、コロニアリズムやジェンダーの視点から研究している。著書に『桃山・江戸のファッションリーダー 描かれた流行の変遷』(塙書房)、「キモノ表象の民族主義と帝国主義」(『グローバル関係学 5「見えない関係性」をみせる』第 1 章、岩波書店)など。

14:05～　講演②『島津製作所標本部の展開と実態』

川勝 美早子（島津製作所 創業記念資料館）

島津製作所 創業記念資料館　学芸員　課長
龍谷大学・同志社女子大学ほか非常勤講師。
2008 年頃から京都の小・中学校の統合や廃校が進む中で
教材として使用されてきた理化学器械・標本資料の調査を行った。
現在は全国からの依頼に対応し、保存活動などを継続している。
また、標本資料の収集活動によって
島津製作所 創業記念資料館において初めて標本展示を行い、
島津製作所標本部の歴史を広く紹介した。
2011 年、開館以来初めての展示リニューアルを担当。

14:35～　講演③『昭和初期郷土教育実践における資料の位置づけ
　　　　　　　　　—京都市学校歴史博物館所蔵資料を例に考える—』

林 潤平（京都市学校歴史博物館）

京都市学校歴史博物館学芸員。京都先端科学大学・近畿大学ほか非常勤講師(教育史ほか)。専門は近代日本教育史。とくに自然に関する教育について長年研究を継続しているが、そのプログラムの一環として昭和初期の地理教育、郷土教育運動についても研究・考察を行う。また京都市学校歴史学芸員として京都の教育史を研究するなかで、京都市における郷土教育の展開についても調査を進めている。

（休憩・準備 5 分）

15:10～　パネルディスカッション

15:40　　閉会